



12月5日、臨時国会は会期延長

を行うことなく幕を閉じました。コロナ感染拡大第3波への対応をはじめ、国民の様々な不安や疑問の声に応える術を持たない菅政権の姿が浮き彫りになったといえます。国会が閉会したとはいえ、引き続き課題山積の政治の責任を政府に対しては求めていきたいと思います。

さて、市議会の第4回定例会も後半です。提案されている議案に対する委員会審議を終え、本会議での一般質問の準備を行っています。また、ひとり親世帯への臨時特別給付金の年内再支給の動きや「大阪府の医療非常事態宣言」を受けて、緊急の追加議案が出される予定です。

詳細は、14日の議会運営委員会

で説明を受けます。

引き続き、市民のい

のちと暮らしを守る

立場で全力尽く

します。

第4回定例会

一般質問

12月16日(水) 17日(木)の本会議でおこなわれます。

増永わか議員(8番目)

- ① 性暴力についての認識と性暴力支援センターについて
- ② 国保運営方針見直しと保険料値下げについて
- ③ 大企業への交付が9割を超える立地奨励金と中小企業への支援策について
- ④ 別府コミュニティセンターの使用料値下げについて

安藤かおる議員(9番目)

- ① 中学校給食について
- ② 学校規模、学級定数の課題について

ひろ豊議員(14番目)

- ① コロナ禍における生活困窮者の現状と課題について
- ② コロナ禍においてひとり暮らし高齢者等を孤立させない取り組みについて

意見書

日本共産党議員団として2件の意見書(案)を提出。

・ひとり親家庭に対する緊急支援策を求める意見書

・大阪府における新型コロナウイルス感染症防止策の抜本的強化拡充を求める意見書

※意見書案については12月14日(月)の議会運営委員会で協議します。

2021年度予算編成に向けた要望書を提出!



摂津市議員団は11月27日、森山市長と面談し、来年度の予算編成と当面の施策に関する要望書を提出しました。

今回の要望書は、新型コロナウイルス感染症の第3波と言われる急拡大により市民の命、暮らし、地域経済への深刻な影響を及ぼしつつある最中に作成したもので、新型コロナ対策における重点要望項目10項目を含めた191項目からなるものです。